

We went to CANADA to meet my friends.

(友人たちに会いにカナダへ行って来ました) ~第1章(ハプニングは続く)~

No.37 鷺海拓也

7月17日(月曜日)

午前中、メアリーに会って市内観光に連れて行ってもらう。「FB(フェイスブック)」で彼女の近況は知っていたが、直接会えてうれしかった。ウォーキングにて、「オンタリオ湖」に面する「ハーバーフロント」、「オンタリオ女性法教会」などを散策して「ギリシャ料理(弁当)」をGET後に彼女のアパートにて、当時の「青島太平洋マラソン(宮崎)」のビデオを鑑賞しながら会食する。懐かしい映像であった。ここで、第2の「ハプニング」の連絡が入る…(※)。

現在はトロントに居る。明日から「オタワ」を経由して「バンクーバー」から最終目的地「バンクーバー島」へ渡る予定である。

この島へは当初、フェリー(90分)を利用するつもりだったが、ジニーから時間的に「水上飛行機(20分)」を利用する様に勧められた。

- ① 往路:バンクーバー(港) ~ ナナイモ(バンクーバー島) ×  
復路:ナナイモ(バンクーバー島) ~ バンクーバー(港) ○  
この便だと、空港から港が離れているので空港そばの川からの変更を勧められる。
- ② 往路:リッチモンド(川) ~ ナナイモ(バンクーバー島) ○  
復路:ナナイモ(バンクーバー島) ~ リッチモンド(川) ×  
この便だと、川(空港そば)から中心街(市内)が離れているので、帰りの便は港(バンクーバー)への変更を勧められる。
- ③ 往路:リッチモンド(川) ~ ナナイモ(バンクーバー島) ○  
復路:ナナイモ(バンクーバー島) ~ バンクーバー(港) ○  
ようやく「バンクーバー」~「バンクーバー島」間の「水上飛行機」の予約が整った。

上記の「水上飛行機」の予約は、「Seair Seaplanes(シーエアー社)」のホームページから何度か予約とキャンセルを繰り返して、日本国内で済ませていたが…。

(※)バンクーバー島の彼女の住むポートアルバーニからナナイモまで車で1時間。「水上飛行機」の発着場まで迎えに来てくれる予定だったが、強風によるがけ崩れで1本しかない国道が閉鎖されていると言う。なので、彼女の家のすぐ近くの湖(スポルト湖)に離発着する「Pacific Seaplanes(パシフィック社)」に変更する様にと連絡が入る。

この予約は「ホームページ」からではなく直接、電話をしなければならない。私は相手の表情を伺う事の出来ない電話は苦手である。きちんと日付や名前を伝えて「予約」をしたつもりだったが・・・。

バンクーバー島に渡る当日の7月22日はきちんと予約で出来てなくて、ポートアルバーニ行きの午前11時の飛行機は私達を乗せないままに飛び立ってしまった(汗)！



ジニーは、その飛行機に私達が乗っていない事を知って「パニック状態」になっている様子だった。私達は思ったよりも冷静で、ナナイモまで(道路が復旧)迎えに来てくれると言う事で午前3時の飛行機を受付にて直接予約後に、隣の「別会社」の「レストラン」に向かう。

食事をしていると、今度はその「別会社」の飛行機(12時45分)に空席があると連絡が入る。再びキャンセルする事と、朝8時からリッチモンドの航空会社にいるので昼食をゆっくりしたかったので午後3時の飛行機まで待つ事を伝えた・・・。(続編の章に続く)

7月18日(火曜日)

朝9時半の航空便でトロントから、カイラの住んでいるオタワに向かう。宿泊先から「ビリー・ピショップ・トロント・シティ空港」まで直線距離で2km。歩いて30分と書いてある。荷物があるので、フロントでタクシーをお願いするが、番号を教えてくれるだけで呼んではくれない。仕方なく表に出て電話するが、自動応答になっていて要領を得ない。隣のコーヒーショップの店員にもお

願いするが、体よく断られる。なぜかわからない。仕方なく空車を探すが見つからない!

すると普通車が目の前に止まって「シティ空港に行くのか?キャッシュを持っているか?」と聞いてくる。心配だったが、選択肢のない私達は願いするしかなかった。親切に空港まで送ってくれて「10ドル」で良いと言う。日本でいう「白タク」だったのだろうかと思っている…。

空港について「フェリー乗り場」へ行こうとすると、警備員がまだ空いていないので別の入り口から入るように言われる。入ってみると、「銅像」と「エレベーター」があるだけ。一人の女性がいたので聞いてみると、初めてなので分からないと言う。奥に一組の夫婦が「エレベーター」に乗るところが見えたので、彼女と一緒に便乗する。地下へのボタンしかなかった。降りてみて分かったが、立派な明るい「地下通路」が空港まで続いている。知らなかった…。



「第一次大戦」で活躍した「ビリー・ビショップ」と上官の銅像



「地下道」から「トロント・シティ空港」へ上るエスカレーター

～続く～